

調布市事業系ごみアンケート調査結果について（概要）

1. 事業系ごみアンケート調査の目的など

(1) 目的

本調査は、事業所に対するアンケート調査を通じ、事業系ごみの排出実態を分析することにより、事業系ごみ減量方策の検討及び次期一般廃棄物処理基本計画策定に向けた基礎資料とすることを目的としています。

(2) 対象事業所

調布市では、市のごみ・資源の収集に事業系ごみを出す小規模な事業所に対しては、事前に「事業系廃棄物の収集・運搬及び処分に関する申出書」を提出していただいています。

本調査は、申出書を提出している事業所から無作為に2,500事業所を抽出して調査対象としました。

(3) 調査方法

郵送により調査票を配布・回収しました。

(4) 調査実施時期

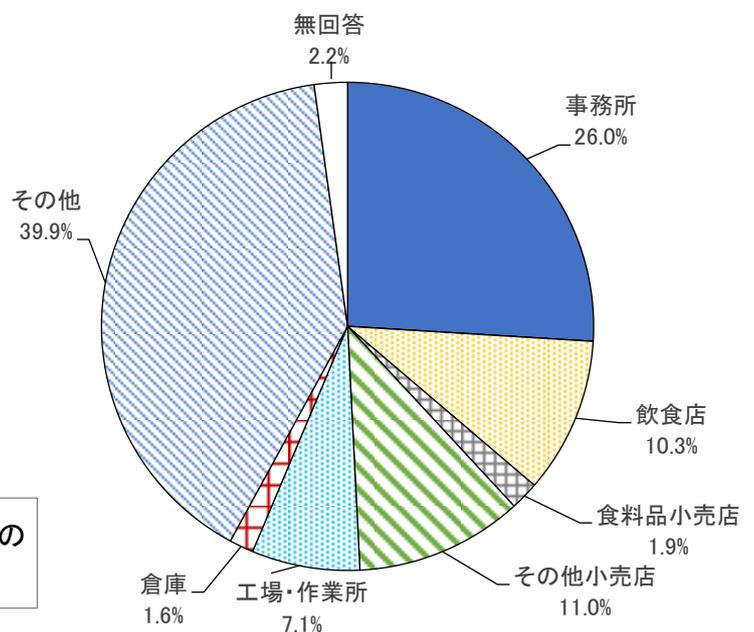
令和2年11月13日（金）～27日（金）

(5) 回収の結果

有効発送数	1,761 票※
有効回答数	689 票
有効回答率	39.1%

※発送数2,500票より宛先不明733票、廃業6票を除いた数値

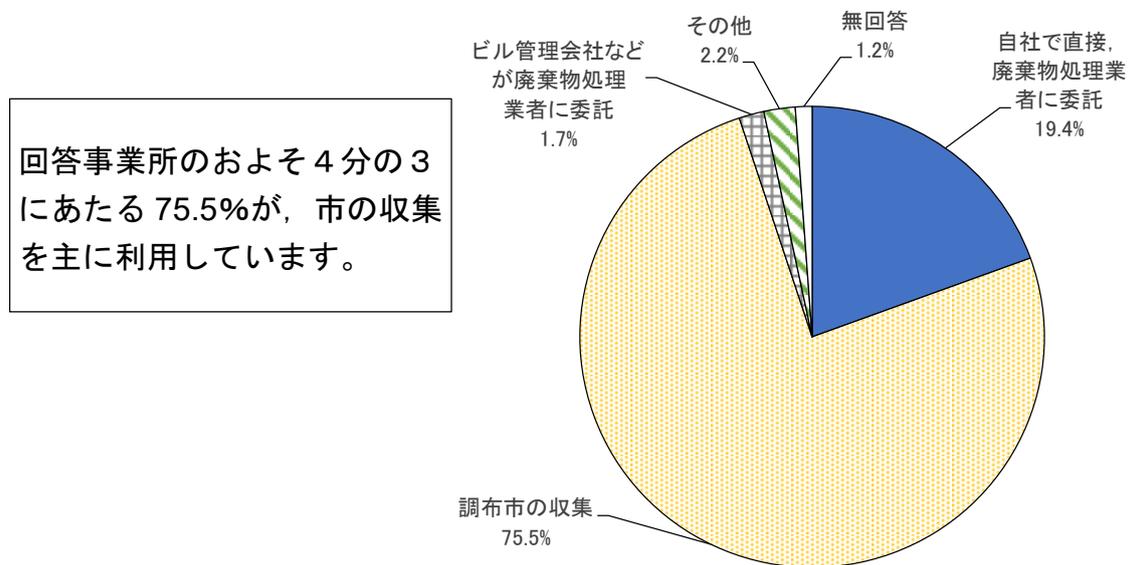
回答事業所（689件）の業種別内訳



2. 主な調査結果

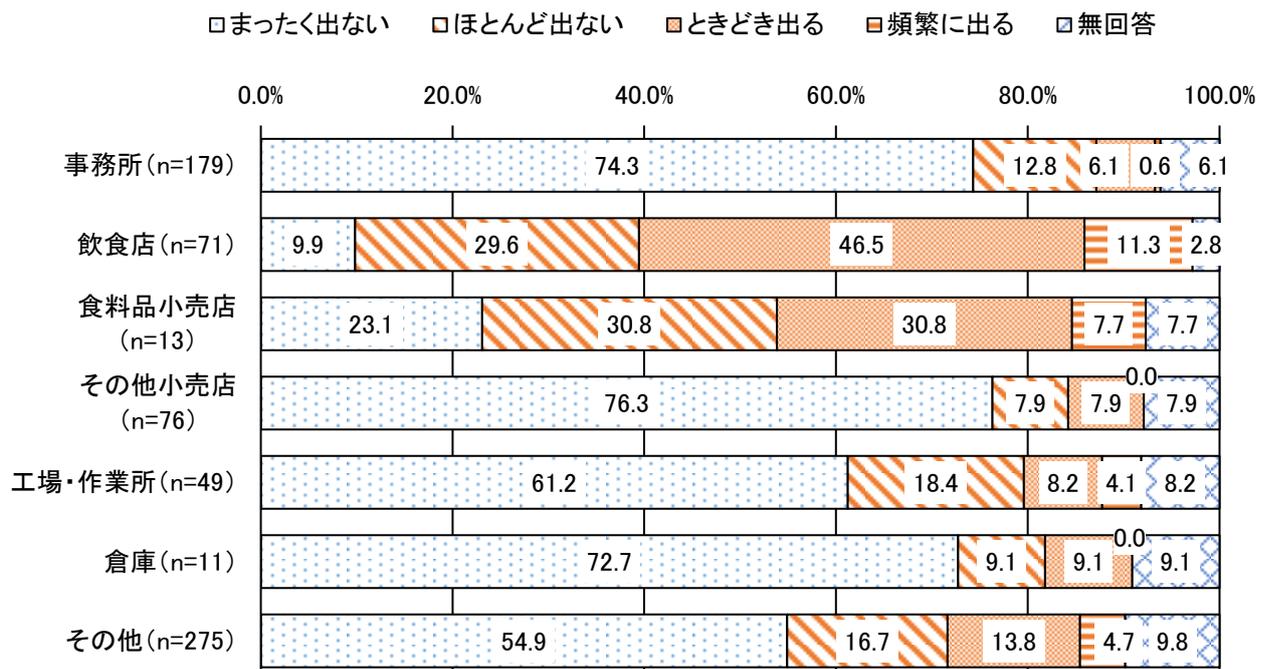
2.1 ごみ処理の状況

(1) 回答事業所のごみ処理方法



(2) 食品ロスの排出

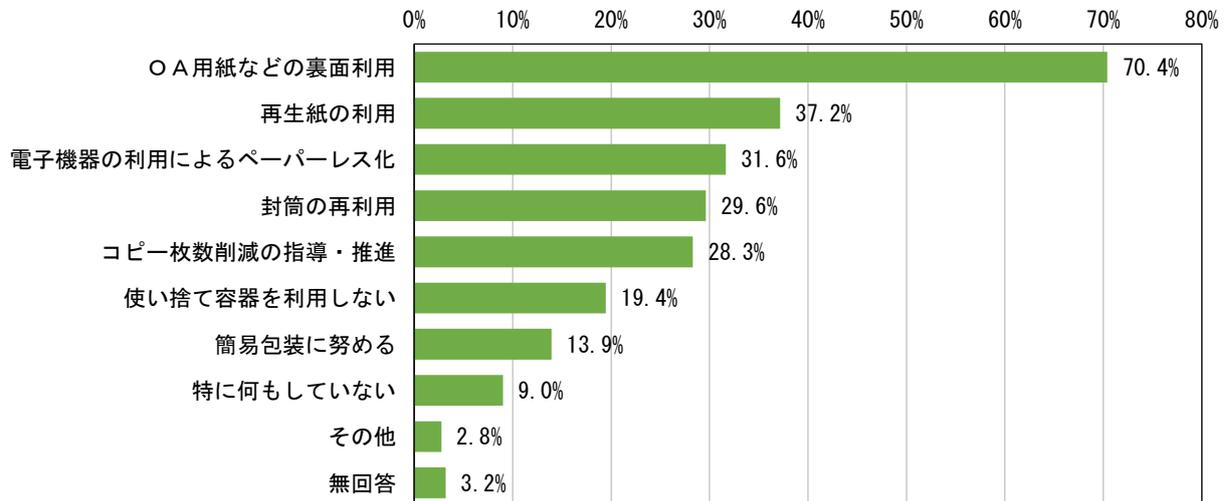
飲食店（71件）においては、11.3%が「食品ロスが頻繁に出る」、46.5%が「ときどき出る」と回答しています。



2.2 ごみ減量やリサイクルの取組状況

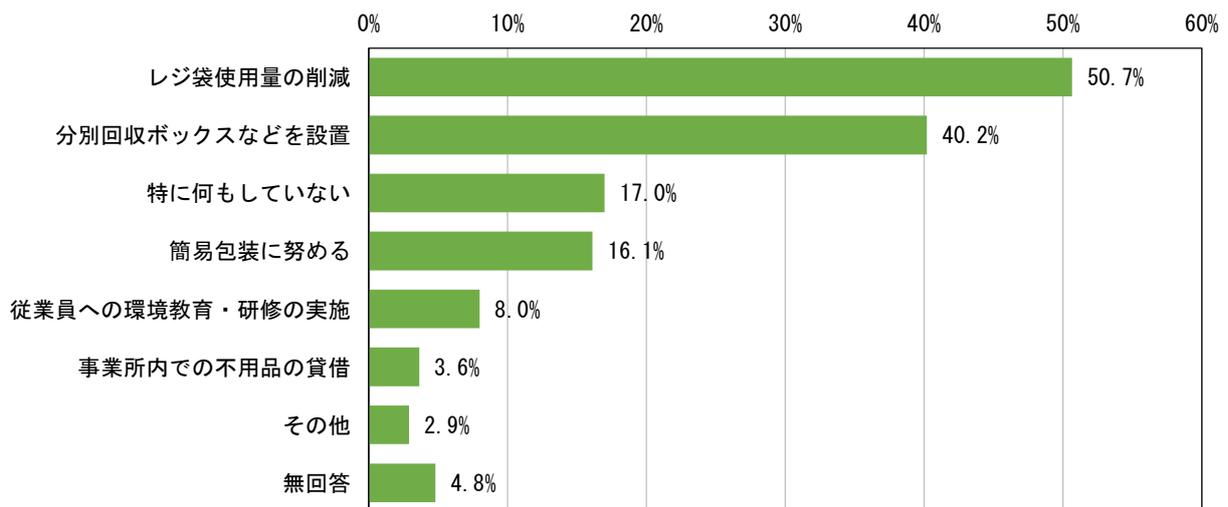
(1) 紙類の減量・リサイクルの取組状況

「OA用紙などの裏面利用」が最も高く70.4%、次いで「再生紙の利用」が37.2%などとなっています。



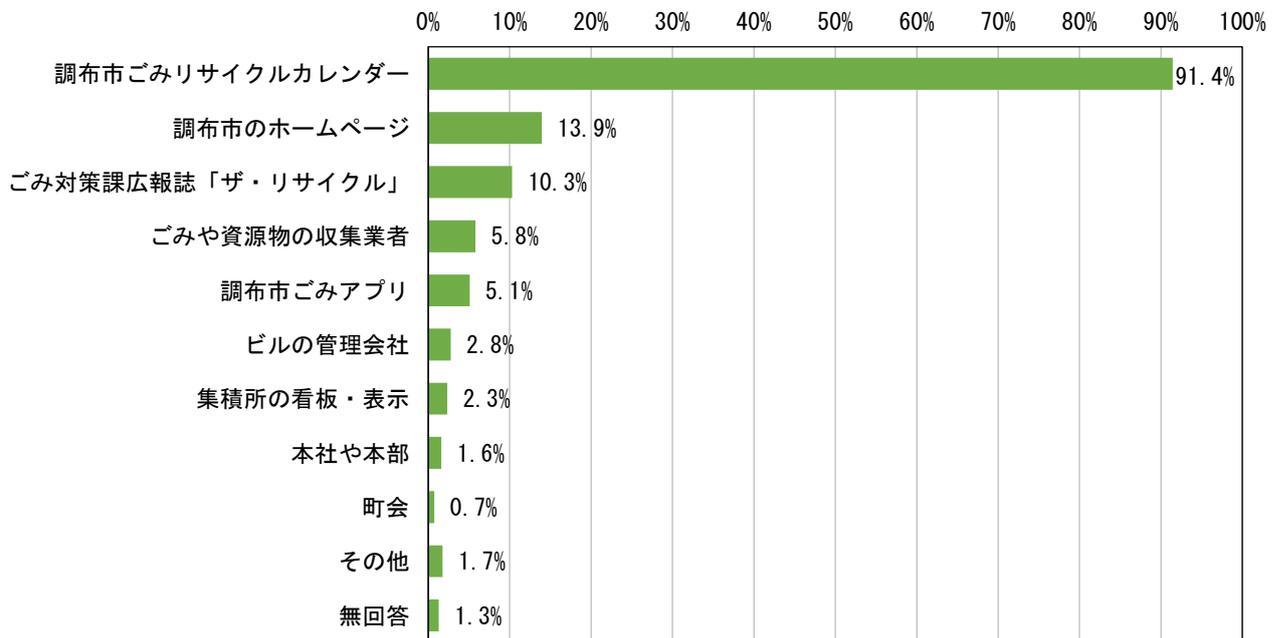
(2) プラスチックの減量・リサイクルの取組状況

「レジ袋使用量の削減」が最も高く50.7%、次いで「分別回収ボックスなどを設置」が40.2%、「特に何もしていない」が17.0%の順となっています。



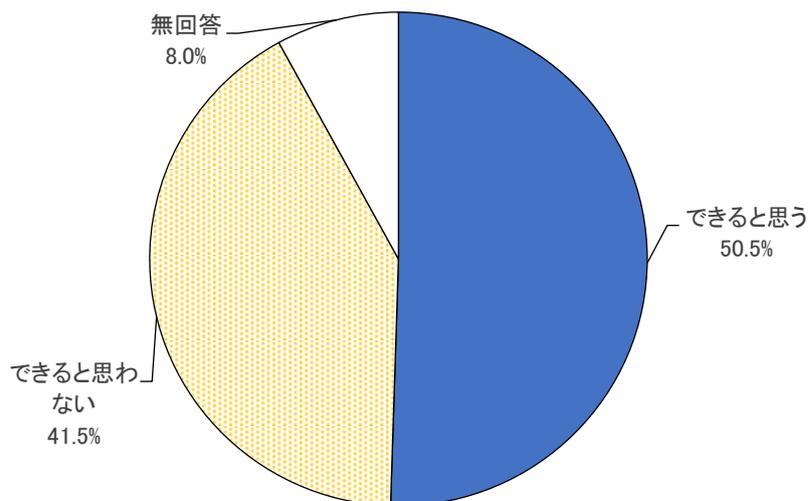
(3) ごみの分別や出し方の情報源

「調布市ごみリサイクルカレンダー」が最も高く 91.4%となっています。



(4) 今後のごみ減量・リサイクルの可能性

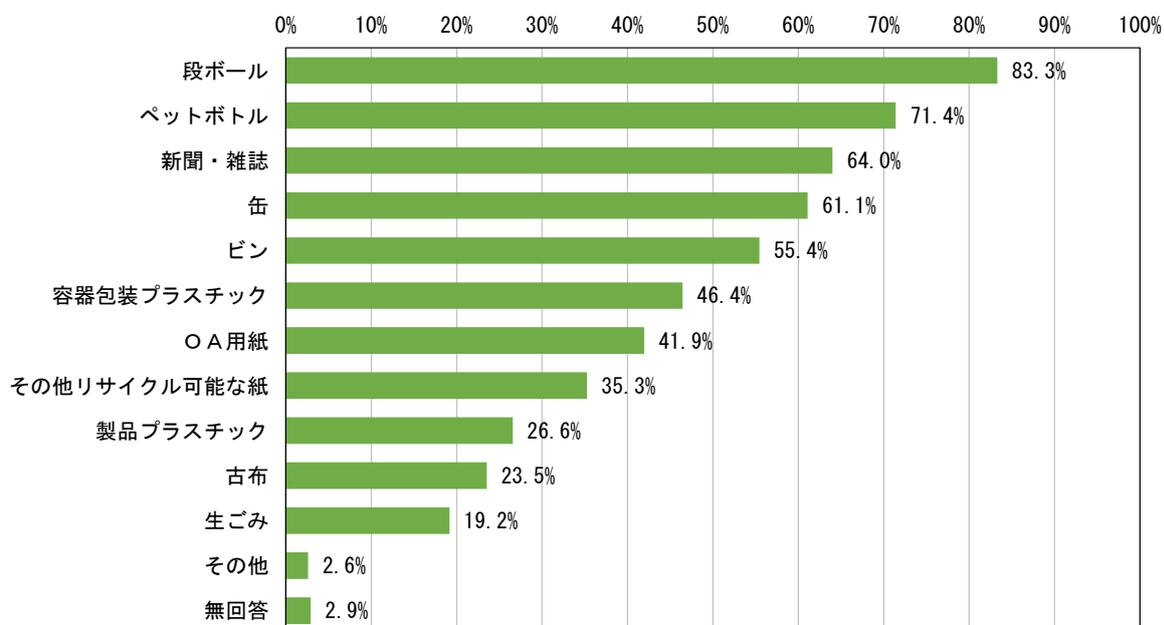
「今よりもっとごみ減量やリサイクルができると思うか」という問に対し、「できると思う」が 50.5%、「できると思わない」が 41.5%となっています。



2.3 ごみ・資源物の排出量の推定

(1) 資源物の品目別の排出状況

事業所から出る資源物の品目としては、「段ボール」が最も高く 83.3%，次いで「ペットボトル」が 71.4%，「新聞・雑誌」が 64.0%の順となっています。



(2) 市の収集に出される事業系ごみに含まれる資源化可能物量の推定

(1) の資源物やその他のごみの 1 週間あたりの発生量を尋ね、回答結果を元に市の収集に出される事業系ごみ量を推計しました。

結果は下表のとおりで、市の収集に出される事業系ごみは年間で推定 1,380.3 トン、そのうち、資源化可能物が 15.1%を占めています。

品目	ごみ量 (t/年)	割合
ア. 新聞・雑誌	10.1	0.7%
イ. O A用紙	45.9	3.3%
ウ. 段ボール	16.8	1.2%
エ. その他リサイクル可能な紙	39.0	2.8%
オ. 生ごみ	548.4	39.7%
カ. 古布	34.7	2.5%
キ. 缶	7.2	0.5%
ク. ビン	16.7	1.2%
ケ. ペットボトル	9.2	0.7%
コ. 容器包装プラスチック	64.2	4.7%
サ. 製品プラスチック	87.6	6.3%
シ. その他可燃物	332.7	24.1%
ス. その他不燃物	168.1	12.2%
合計	1,380.3	100.0%
資源化可能物	209.0	15.1%